

(7) かぼちゃ

病害虫	防除法	参考事項									
疫病	・ 苗床及び本ほの土壌消毒をする (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病を認めたら下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アリエッティ水和剤</td></tr><tr><td>ジマンダイセン/ベンコゼブ水和剤</td></tr><tr><td>フェスティバルC水和剤</td></tr><tr><td>フォリオゴールド</td></tr></table>	薬剤名	アリエッティ水和剤	ジマンダイセン/ベンコゼブ水和剤	フェスティバルC水和剤	フォリオゴールド					
薬剤名											
アリエッティ水和剤											
ジマンダイセン/ベンコゼブ水和剤											
フェスティバルC水和剤											
フォリオゴールド											
べと病	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 7～10 日おきに下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アミスターオブティフロアブル</td></tr><tr><td>アリエッティ水和剤</td></tr><tr><td>オーソサイド水和剤 80</td></tr><tr><td>キノンドー水和剤 40</td></tr><tr><td>ジマンダイセン/ベンコゼブ水和剤</td></tr><tr><td>ストロビーフロアブル</td></tr><tr><td>ダコニール 1000</td></tr><tr><td>リドミルゴールドMZ</td></tr></table>	薬剤名	アミスターオブティフロアブル	アリエッティ水和剤	オーソサイド水和剤 80	キノンドー水和剤 40	ジマンダイセン/ベンコゼブ水和剤	ストロビーフロアブル	ダコニール 1000	リドミルゴールドMZ	
薬剤名											
アミスターオブティフロアブル											
アリエッティ水和剤											
オーソサイド水和剤 80											
キノンドー水和剤 40											
ジマンダイセン/ベンコゼブ水和剤											
ストロビーフロアブル											
ダコニール 1000											
リドミルゴールドMZ											
ホモプシス根腐病	・ 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。										
モザイク病	(耕種的・物理的防除) 1 苗床には発芽直後から防虫ネットを使って有翅アブラムシの侵入を防止する。 2 本畑においてはシルバーポリマルチ(例：ムシコン、シルバーポリトウなど)をする。ハウス、温室においても同様にし、天井、側面腰窓などに防虫ネットをはる。 3 つる整理の際に鉋や手によって伝染し、また収穫の際に鉋によっても伝染するので、発病株は作業の最後にまわす等十分注意する。 (薬剤防除) 1 本項のアブラムシ類の防除を参考に薬剤散布する。効力持続期間の長いものを使うよう努める。										

アブラムシ類

(耕種的・物理的防除)

- 1 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。
- 2 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。
- 3 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。
- 4 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

1 生物的防除

薬剤名(天敵名)	備考
アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設のみ
コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設のみ
チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設のみ
テントップ (ナミテントウ)	施設のみ
カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設のみ
ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設のみ
ブリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシのみ

2 気門封鎖剤

薬剤名
エコビタ液剤
オレート液剤
サフオイル乳剤
サンクリスタル乳剤
粘着くん液剤
フーモン
ムシラップ

- 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。

薬剤名	備考
エルサン乳剤	
ダイアジノン水和剤 3 4	
マブリック水和剤 2 0	
ロディー乳剤	
アドマイヤー顆粒水和剤	露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある
アドマイヤーフロアブル	露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	
ダントツ水溶剤	
モスピラン顆粒水溶剤	
ウララDF	
モベントフロアブル	マルハナバチ使用時注意

○ 天敵農薬使用上の留意事項

- 1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、[農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」](#)を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。
- 2 アブラムシ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。また、アブラムシの種類と天敵の組み合わせによっては、効果が認められない場合がある。

病害虫	防除法	参考事項
アブラムシ類	コルト顆粒水和剤 スタークル/アルバリン粒剤 ダントツ粒剤 モスピラン粒剤	
ウリハムシ	(耕種的・物理的防除) 1 防虫用被覆を行う。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 定植時にダイアジノン粒剤 3 を土壌混和する。 2 マラソン乳剤又はダントツ水溶剤を散布する。	○ ダイアジノンはウリハムシ幼虫での登録である。

コナジラミ類

(防除対策)

- 特にタバココナジラミは薬剤抵抗性が発達しているため、以下に挙げる予防策を基本とした総合防除を行う。
 - (1)寄生範囲が広いため、ほ場内外の雑草防除などほ場衛生に努める。
 - (2)施設では成虫の侵入防止を徹底する。0.4mm 目以下の防虫ネット、紫外線カットフィルム、反射資材等の利用が有効である。
 - (3)夏期には露地においても発生が多くなるため、秋期より栽培(定植)の始まる作型では、施設内への成虫の侵入防止対策が特に重要である。
 - (4)育苗期の防除に努め、コナジラミ類が寄生していない苗を定植する。鉢物など、栽培に関係のない植物は、施設内に持ち込まない。
 - (5)連作する場合には、作と作の間に施設内に植物が存在しない期間を設け、コナジラミ類がリレーされることを避ける。
- 本圃において化学的防除を行う際は、早期発見、早期防除に重点を置く。薬剤効果に差があるので、両種の区別を的確に行う。薬剤散布を行うに当たっては、葉裏に寄生している幼虫、蛹にも必ず薬剤がかかるよう丁寧に十分な量を散布する。さらに、薬剤が株全体によく到達するよう下葉の処分を早期に行うなど工夫する。
- 施設での発生予防のために黄色粘着テープを使用する場合は、侵入防止を徹底したうえで、施設の出入口や側窓付近に張り、定期的に交換する。
- 作物上に寄生したコナジラミの施設外への逃亡・拡散を防止するため、収穫後の残さは、キルパーの処理(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項の「キルパーを用いた前作の古株枯死、病害虫まん延防止」を参照)や施設の密閉(蒸し込み)により、枯死、乾燥させた上で処分する。(農薬登録情報)

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

1 生物的防除

コナジラミ類に対しては、以下のような天敵農薬の登録がある。

(1) 天敵カブリダニ、昆虫製剤

薬剤名(天敵名)	備考
エルカード (サバクツヤコバチ成虫)	施設のみ
エンストリップ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ
サバクトップ (サバクツヤコバチ羽化成虫)	施設のみ
スワルスキー (スワルスキーカブリダニ)	施設のみ
スワルスキープラス (スワルスキーカブリダニ)	施設のみ
ソヤトップ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ オンシツコナジラミのみ
ツヤトップ25 (オンシツツヤコバチ)	施設のみ オンシツコナジラミのみ
ツヤバラリ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ
リモニカ (リモニカスカブリダニ)	施設のみ

(2) 天敵微生物製剤

薬剤名(天敵名)	備考
ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設のみ
ブリファード水和剤 (ペキロマイセス・フモソロセウス)	施設のみ
ボタニガードES (ボーベリア・バシアーナ GHA)	
ボタニガード水和剤 (ボーベリア・バシアーナ GHA)	施設のみ
マイコタール (パーティシリウム・レカニ)	施設のみ

○ 天敵農薬使用上の留意事項

- 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、[農薬安全使用に関する参考資料の章の天敵等への化学農薬の影響の目安の項](#)を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。
- コナジラミの生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。

病害虫	防除法	参考事項																												
	2 気門封鎖剤 <table><tr><th>薬剤名</th><th></th></tr><tr><td>エコビタ液剤</td><td></td></tr><tr><td>オレート液剤</td><td></td></tr><tr><td>サフオイル乳剤</td><td></td></tr><tr><td>サンクリスタル乳剤</td><td></td></tr><tr><td>粘着くん液剤</td><td></td></tr><tr><td>フーモン</td><td></td></tr><tr><td>ムシラップ</td><td></td></tr></table> 3 薬剤抵抗性の発達を回避するため、異なる系統から薬剤を選びローテーション散布を行う。 <table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>コルト顆粒水和剤</td><td>受粉昆虫使用時注意</td></tr><tr><td>モベントフロアブル</td><td>マルハナバチ使用時注意</td></tr><tr><td>アドマイヤー1粒剤</td><td></td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td><td></td></tr></table>	薬剤名		エコビタ液剤		オレート液剤		サフオイル乳剤		サンクリスタル乳剤		粘着くん液剤		フーモン		ムシラップ		薬剤名	備考	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤		コルト顆粒水和剤	受粉昆虫使用時注意	モベントフロアブル	マルハナバチ使用時注意	アドマイヤー1粒剤		スタークル/アルバリン粒剤		
薬剤名																														
エコビタ液剤																														
オレート液剤																														
サフオイル乳剤																														
サンクリスタル乳剤																														
粘着くん液剤																														
フーモン																														
ムシラップ																														
薬剤名	備考																													
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																														
コルト顆粒水和剤	受粉昆虫使用時注意																													
モベントフロアブル	マルハナバチ使用時注意																													
アドマイヤー1粒剤																														
スタークル/アルバリン粒剤																														
トマトハモグリバエ	(防除対策) 1 薬剤防除のみでは防除が困難であるため、耕種的・物理的防除法も組み合わせる。 2 成虫は黄色に強く誘引される性質があるので、黄色粘着板を用いて発生をモニタリングし、初期防除を徹底する。 3 成虫の侵入を防止するため、施設開口部には防虫ネットを設置する。また、紫外線カットフィルムの利用も有効である。 4 ほ場周辺部の雑草などにも寄生するので、特にキク科雑草を除去する等、ほ場衛生に努める。 5 収穫後の被害残さは発生源となるので、土中に埋設するか、ビニール被覆し熱処理を行う。 6 収穫終了後、地表の蛹の防除対策として、施設を密閉し土壌表面をビニール等で被覆することにより蒸し込む。水分のある植物がない状態で最低地温 40℃以上が数日続けば、蛹はほぼ死滅し、羽化成虫も1日で死滅する。 (薬剤防除) 農業登録情報 1 生物的防除 ハモグリバエ類に対しては、以下のような天敵農薬の登録がある。 <table><tr><th>薬剤名(天敵名)</th><th>備考</th></tr><tr><td>ヒメトッポ (イサエアヒメコバチ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>イサバラリ (イサエアヒメコバチ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>ミドリヒメ (ハモグリミドリヒメコバチ)</td><td>施設のみ</td></tr></table> 2 下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>カスケード乳剤</td><td>トマトハモグリバエで登録</td></tr><tr><td>トリガード液剤</td><td></td></tr></table>	薬剤名(天敵名)	備考	ヒメトッポ (イサエアヒメコバチ)	施設のみ	イサバラリ (イサエアヒメコバチ)	施設のみ	ミドリヒメ (ハモグリミドリヒメコバチ)	施設のみ	薬剤名	備考	カスケード乳剤	トマトハモグリバエで登録	トリガード液剤																
薬剤名(天敵名)	備考																													
ヒメトッポ (イサエアヒメコバチ)	施設のみ																													
イサバラリ (イサエアヒメコバチ)	施設のみ																													
ミドリヒメ (ハモグリミドリヒメコバチ)	施設のみ																													
薬剤名	備考																													
カスケード乳剤	トマトハモグリバエで登録																													
トリガード液剤																														